

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道4号 <small>おおひらどうろ</small> 大衡道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県黒川郡大衡村大衡柵木 <small>おおひらむらおおひらはぬき</small> 至：宮城県黒川郡大衡村駒場字蕨崎 <small>おおひらむらこまばあざわらびざき</small>	延長	4.5 km		
事業概要 一般国道4号は東京都中央区から青森県青森市に至る延長約836.4kmの主要な幹線道路である。 大衡道路は宮城県黒川郡大衡村大衡柵木から大衡村駒場字蕨崎に至る延長約4.5kmの4車線事業である。					
H28年度事業化		H27年度都市計画決定		H30年度用地着手	
全体事業費	約79億円	事業進捗率	約13%	供用済延長	— km
		(令和2年3月末時点)			
計画交通量 26,900台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)
	1.7 (残事業) 2.3	(事業費) 4.7億円/6.8億円 (維持管理費) 1.5億円/1.5億円	6.2億円/8.3億円	1.43億円/1.43億円 1.31億円/1.31億円 9.9億円/9.9億円 2.3億円/2.3億円	1.43億円/1.43億円
感度分析の結果 【事業全体】 交通量 : B/C=1.5~1.9(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.6~1.8(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.7~1.8(事業期間+1年) 【残事業】 B/C= 2.0~ 2.6(交通量 ±10%) B/C= 2.1~ 2.5(事業費 ±10%) B/C= 2.2~ 2.4(事業期間+1年)					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減 (渋滞損失時間：47.7万人・時間/年、渋滞損失削減率：約9割削減) ②国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線の整備により、大衡村から圏域中心都市の大崎市へのアクセス向上が見込まれる。 (大衡村→大崎市 現況：31分→整備後：29分) ③災害への備え ・宮城県緊急輸送道路における、第1次緊急輸送道路ネットワークに位置づけ。					
					他5項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 ○宮城県知事の意見 「対応方針（原案）」案のとおり「継続」で異議ありません。 一般国道4号は、東日本の縦の大動脈として東北全般の産業経済活動や地域間交流を支える、極めて重要な役割を担う幹線道路であり、東日本大震災においては、並行する東北縦貫自動車道とともに、被災地への支援活動にも大きな役割を果たした。 評価対象の大衡道路は、慢性的な渋滞が発生し、特に冬期においては、東北縦貫自動車道が通行止めとなった際の代替路として、激しい渋滞が生じるなど、交通混雑が課題となっており、4車線化の早期完成が望まれている路線である。 今回の再評価においては、全体事業費や事業期間について、当初計画通りの事業実施が見込まれており、「対応方針（原案）」案に対して異議はない。引き続き、コスト縮減に最大限配慮いただき、一日も早い完成に向けて事業の進捗を図っていただきたい。 ○以下の団体等から、大衡道路の整備促進について要望あり 宮城県知事、国道4号拡幅改良建設促進期成同盟会、宮城県道路利用者会議					
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）は妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成28年度事業化、用地進捗率約3%、事業進捗率約13%（令和2年3月末時点）					

